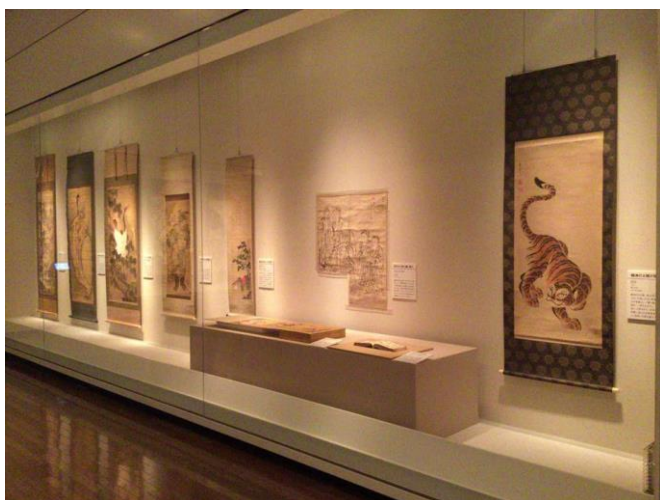


特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

渡辺鶴洲展



渡辺鶴洲(1778~1830)は、唐絵目利の名門・渡辺家の出身で、幼い頃より唐絵目利としての家法を学びつつ、南蘋派の画法も修めました。鶴洲が記した「長崎画人伝」や「歴代画家提要」など長崎絵画に関する情報は約200年が経過した現在でもその価値を失っていません。本特集は、昨年度寄贈された鶴洲の対幅を公開するとともに、当館が所蔵する鶴洲作品を一堂に会する小企画展です。父・秀詮(しゅうせん)から息子の秀乾、弟子の荒木千洲や村田鶴阜(かっこう)に至るまで、鶴洲の画風がいかにより形成され、自らの思想を彼がいかにより後世へ伝えようと試みたのかをご覧ください。

会 期：2018年1月17日(水)~3月18日(日)
※2月19日休館
時 間：8:30~18:00(最終入館17:30)
会 場：特集展示室
(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)
観覧料：大人600円、小中高校生300円
※県内小中学生は無料



渡辺鶴洲《三仙人図》長崎歴史文化博物館蔵

その他の展示替え

中国との交流コーナー

中国で古来から不老長寿を得られると言われ、仙人の果実として親しまれている“桃”をテーマに、当館の収蔵品をご紹介します。

近代化の魁・長崎コーナー

2018年、明治維新150年を迎えることを記念し、明治政府が設置した長崎裁判所の総督として任命された沢宣嘉(さわのぶよし)をテーマに当館の収蔵品をご紹介します。

会 場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン 各コーナー
時 間：8:30~18:00(最終入館17:30)
観 覧 料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

